

SONIC CITY

2025 SERIES

7:00pm, July 4th (FRI),
2025

150

ソニックシティ 2025シリーズ 第150回さいたま定期演奏会
2025年7月4日(金) 午後7時開演/ソニックシティ 大ホール

第150回さいたま定期演奏会 日本フィルハーモニー交響楽団

ラフマニノフ

ヴォカリーズ op.34-14 (管弦楽版) (約6分)

Sergei RACHMANINOV: Vocalise op.34-14 (for Orchestra)

ラフマニノフ

パガニーニの主題による狂詩曲 op.43 (約22分)

Sergei RACHMANINOV: Rhapsody on a Theme of Paganini, op.43

～休憩(20分)～

ラフマニノフ

交響曲第2番 ホ短調 op.27 (約60分)

Sergei RACHMANINOV: Symphony No.2 in E-minor, op.27

指揮：**原田慶太楼**

Conductor: HARADA Keitaro

ピアノ：**阪田知樹**

Piano: SAKATA Tomoki

コンサートマスター：**田野倉雅秋** [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: TANOKURA Masaaki, JPO Solo Concertmaster

主催

公益財団法人埼玉県産業文化センター / さいたま市 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援

埼玉県 / 埼玉県教育委員会 / さいたま市教育委員会 / 埼玉県吹奏楽連盟

【アンケートのお願い】 今後のソニックシティ主催公演参考のため、アンケートへのご協力をお願いいたします。アンケートにお答えいただきました方から抽選で3名様に本日の出演者原田慶太楼氏と阪田知樹氏のサイン色紙をお送りいたします。右の二次元コードより、スマートフォン・タブレットからお答えください。(所要時間約5分)



▶全てのプログラムが終了した時写真撮影が可能になりました。撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。是非、コンサートの感動を多くの方と分かち合っていたいただければと存じます。(SNS等への投稿の際は、#ソニックシティの追加をお願いします)



©kumiko suzuki

指揮：原田慶太楼

東京交響楽団正指揮者、愛知室内オーケストラ首席客演指揮者兼アーティスティック・パートナー、アメリカでは2020年シーズンからジョージア州サヴェンナ・フィルハーモニック音楽&芸術監督を務め、さらに2025年7月からオハイオ州デイトン・フィルハーモニック管弦楽団とデイトン・オペラ&バレエの音楽・芸術監督にも就任した、国際的に目覚ましい活躍を続ける期待の俊英。

シンシナティ交響楽団&ポップス、アリゾナ・オペラ、リッチモンド交響楽団のアソシエイト・コンダクターとして、またジェームズ・レヴァインやロリン・マゼールのアシスタントとしてキャリアを積みながら、ヒューストン、フェニックス、N響、読響等のオーケストラはもちろん、ノースカロライナ、シンシナティ、ブルガリア国立歌劇場などオペラの世界でも

実績を重ね、最近では2024年のNISSAY OPERAドニゼッティ「連隊の娘」や2025年デイトン・オペラでのヴェルディ「アイダ」で舞台を力強く牽引しオペラ指揮者としての資質を感じさせた。

2010年タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、米国ショルティ財団のキャリア支援賞6度と2023年には日本人で初めてトップのコンダクター賞を受賞。2009年キャッソルトン・フェスティバルにロリン・マゼールから、2011年PMFにはファビオ・ルイジから招待を受けて参加。第29回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第20回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

オフィシャル・ホームページ：kharada.com/ @KHconductor



©Ayustet

ピアノ：阪田知樹

2016年フランツ・リスト国際ピアノコンクール(ハンガリー・ブダペスト)第1位、6つの特別賞。2021年エリザベート王妃国際音楽コンクールピアノ部門第4位入賞。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。

ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、聴衆賞等5つの特別賞、クリーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッシンゲン国際ピアノオリンピックではベートーヴェンの演奏を評価され、日本人初となる第1位及び聴衆賞。

国内はもとより、世界各地20カ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。クレムリン音楽祭では、オール・リスト・プログラムによるリサイタルをニコライ・ペトロフ氏

が「世界一のリスト」と絶賛。

2015年CDデビュー、2020年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。阪田知樹ピアノ編曲集「ヴォカリーズ」を2022年5月に、「夢のあとに」を2023年7月に、阪田の作曲した「アルト・サクソフォンとピアノのためのソナチネ」を23年11月に音楽之友社より出版。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。

2017年横浜文化賞文化・芸術奨励賞、2023年第32回出光音楽賞、第72回神奈川文化賞未来賞を受賞。

望 ~望郷の思い、希望の眼差し~

ラフマニノフ ヴォカリーズ op.34-14 (管弦楽版)

19世紀末から20世紀前半にかけての激動の時代を生きた、ロシア出身のセルгей・ラフマニノフ(1873-1943)。19世紀の香りを濃厚に宿した「最期のロマン派」ともいえるその作風は、今もお熱狂的に支持されている。

そんなラフマニノフの代名詞ともいえるのが、『ヴォカリーズ』だ。原曲は独唱とピアノのために書かれ(作曲は1915年)、ロシア革命に向けた不穏な空気が立ち込める1916年にモスクワで初演された。初演後、憂いと憧れが交差するその曲想は大評判となり、それを受けてラフマニノフ自身によりソプラノ独唱と管弦楽、さらに管弦楽のみの編曲もおこなわれた。今日は、その管弦楽編曲版が取り上げられる。

ラフマニノフ パガニーニの主題による狂詩曲 op.43

「ヴァイオリンの鬼才」の異名をとり、「悪魔と契約を結んだ」という伝説が生まれるほど、人間離れた超絶技法とスキャンダラスな人生を送ったイタリアのニコロ・パガニーニ(1782-1840)。中でも無伴奏ヴァイオリンのための《カプリース》に収められた第24曲目の作品は、後の多くの作曲家たちのインスピレーションを刺激し、その主題に基づいて数々の名作が生み出されることとなった。

ラフマニノフもそのひとりである。生前名ピアニストとしても鳴らした彼は、華麗なピアノの技法に基づき、パガニーニの原曲以上に演奏困難、かつ聴き手を圧倒するような当作品を生み出した。何しろ全体の構成からして、序奏と24の変奏、コーダからなる大規模な構えとなっている。

なおこの作品の作曲が行われたのは、1934年のこと。ロシア革命が勃発する中、祖国ロシアを去った彼は、果てしない望郷の念を抱きながら遠くアメリカの地で暮らさざるをえず、しかもヨーロッパではファシズム勢力が台頭しつつあった。

また、そうした状況が反映されているのだろう。ラフマニノフは、これまでも自作の中に度々転用してきたグレゴリオ聖歌《怒りの日(Dies Irae)》(歌詞の内容は世界の破滅を扱ったものである)の旋律…ただし近年では彼が幼少期から親しんだロシア正教の鐘の旋律という説もある…を織り込み、より劇的でまがまがしい効果を付け加えている。

ラフマニノフ 交響曲第2番 木短調 op.27

ピアノ演奏や指揮、そして様々なジャンルの曲を作曲し、生前から大音楽家としての名声を欲しままにしたラフマニノフ。だが若き日の彼は、自信満々で書き上げた『交響曲第1番』の初演失敗により「作曲家不適合」のレッテルを貼られた結果、極度の自信喪失に陥り、音楽家人生の危機に立たされる。

だがその後、適切な治療、『ピアノ協奏曲第2番』の成功、結婚などで徐々に立ち直っていったラフマニノフは、1906年から1907年にかけて『交響曲第2番』を書く。そして1908年、『交響曲第1番』の初演が大失敗した地であるサンクト・ペテルブルクをあえて初演の地に選び、見事リベンジを果たした。19世紀前半、ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン(1770-1827)を典型として確立されていった交響曲の構造に則り、「闇から光へ」という展開をたどるが、大きな苦悩を経験したからこそ生み出されたであろう美しく儂い楽想は、聴き手の心を慰め、希望をもたらす。

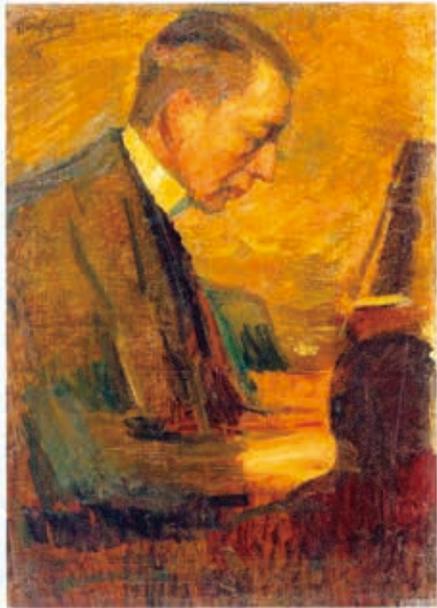
第1楽章の序奏部には、全体を通じて重要な役割を持つ多くの動機が書き込まれている。「怒りの日」に基づく暗く陰鬱な響きはラフマニノフが味わった苦悩だろうか。続いて主部に入ると、彼ならではの劇的で甘美な2つの主題があらわれる。

第2楽章は、ラフマニノフの原典ともいえるロシア風の活発な音楽が凝縮されている。それと対を成すのが第3楽章だが、夢と憧れに満ちたクラリネットの独奏も、元をたどれば第1楽章の序奏部の、苦悩を彷彿させる動機から編まれている。第4楽章は、イタリアの民族舞踊「タランテラ」のリズムに基づく、2つの主題を持った祝祭的なフィナーレだ。

オペラと音楽

2025年10月、新作オペラ「平家物語—平清盛—」の初演が、大宮ソニックシティの主催によって行われます。それを記念して今シーズンのコラムでは、日本フィルさいたま定期演奏会で取り上げられる作曲家と「オペラ」や「歌」の関係にまつわるエピソードをお届けします。

ヴォカリーズの歴史



『ヴォカリーズ』を作曲・初演したころのラフマニノフ。
1916年。レオニード・パステルナーク画。

ラフマニノフの『ヴォカリーズ』の声楽付きバージョンを聴くと、歌に付き物の歌詞がなく、「アー」「オー」といった母音だけで全てが構成されている。こうしたスタイルの歌を「ヴォカリーズ」というのだが、元々は18世紀に、歌手の技量を高めるための一種の練習曲として生まれた。現在風に言えば、ヴォイストレーニングのための曲と考えてよいだろう。

それが大きく変化したのが、19世紀のこと。単なる練習曲にすぎなかったヴォカリーズに、ピアノを主とした器楽によって伴奏が付けられるようになる。理由は色々と考えられるが、単に機械的に練習をするだけでなく、伴奏が加わることでより芸術性を高めよう、という意図があったことは間違いない。

何しろ19世紀は、ラフマニノフも大きな影響を受けたロマン派音楽が、西洋音楽のメインストリームとなった時代。楽譜に書かれた音のみを再現するのではなく、そこに喜怒哀楽様々な感情をこれでもかと詰め込んで、聴き手の魂を震わせるような音楽が持て囃されるようになった。またそ

れを受けて、何人もの音楽家が、『ヴォカリーズ』を作曲していった。

逆にこの時代、声楽の付かない器楽曲においても、「歌」を強烈に意識した作品も登場するようになる。典型的な存在が、ドイツのフェーリクス・メンデルスゾーン（1809-47）によるピアノ曲集『無言歌』。つまり「言葉のない歌」という意味合いで、ピアノ一台で伴奏も歌も表現するという、技術的にも芸術的にも高度な技が要求される。またそうした流れが、その後のピアノ作品の中にも様々な形で受け継がれていった。

名ピアニストだったラフマニノフ自身、少年時代に『無言歌』というピアノ曲を残しているほど。そうでなくても彼のピアノ作品、さらにいえばオーケストラ曲をはじめとする器楽作品にも、こぼれんばかりの「歌」が満ち溢れている。となれば彼が『ヴォカリーズ』を作曲し、しかも声楽がつかない管弦楽版の編曲もおこなったことがよく分かる。そしてそのあまりに美しくやるせない内容は、数ある「ヴォカリーズ」中、今や不動の地位を築くに至ったのである。

第150回さいたま定期演奏会に寄せて

この度は第150回さいたま定期演奏会の開催を心よりお慶び申し上げます。

今回はステージ両側に、どちらも樹齢約150年の五葉松（ゴヨウマツ）を展示させて頂きました。五葉松は古くから縁起の良い木として親しまれてきた日本固有種の樹木でございます。

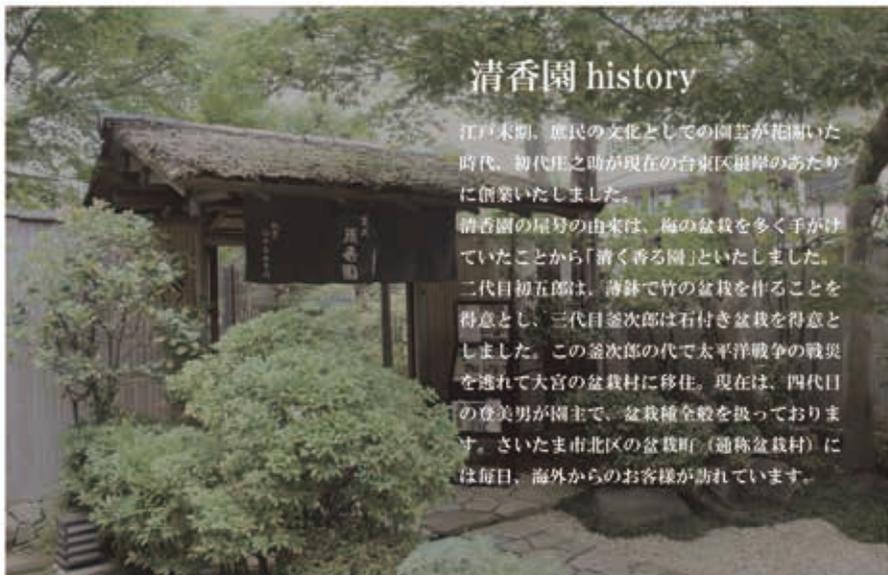
左側には、斜幹という樹形に仕立てた五葉松を飾らせていただきました。幹が斜めに伸び、山の傾斜などに自生する力強い松の姿を想起させます。立ち上がりの幹に背負った大きな白い舍利（シャリ）と、勢よく降ろされた落ち枝が魅力的な作品でございます。

右側には、直幹樹形の五葉松を飾らせていただきました。本作は、五葉松においては珍しく、素直で真っ直ぐな幹の仕立てとなっております。立ち上がりから二番目の枝の作りが独特であり、盆栽においては不要な枝とされる“忌枝（いみえだ）”をあえて切り落とさず、活かすことで、他に類を見ない個性的な銘木となっております。

オーケストラの演奏と、盆栽の景色の調和をお楽しみいただけましたら幸甚に存じます。

盆栽清香園 山田寅幸





清香園 history

江戸末期、庶民の文化としての園芸が花開いた時代、初代庄之助が現在の台東区根岸のあたりに創業いたしました。

清香園の屋号の由来は、梅の盆栽を多く手がけていたことから「清く香る園」といたしました。

二代目初五郎は、薄鉢で竹の盆栽を作ることを得意とし、三代目釜次郎は石付き盆栽を得意としました。この釜次郎の代で太平洋戦争の戦災を逃れて大宮の盆栽村に移住。現在は、四代目の登美男が園主で、盆栽種全般を扱っております。さいたま市北区の盆栽町（通称盆栽村）には毎日、海外からのお客様が訪れています。

お客様に一番身近な「窓口」としての 専門店を目指して

盆栽園という枠組みに捉われず、
お客様に寄り添う専門店を実現していきます。



日本フィルハーモニー交響楽団
第151回さいたま定期演奏会
2025 **9.27** SAT
開場13時 開演14時

指 揮：小林研一郎 ヴァイオリン：神尾真由子
曲 目：サン＝サーンス/ヴァイオリン協奏曲第3番
チャイコフスキー/交響曲第5番

©Makoto Kamiya

公演詳細
QRコード

日本フィルハーモニー交響楽団
第152回さいたま定期演奏会
2025 **11.15** SAT
開場13時 開演14時

指 揮：西本智実 ヴァイオリン：金川真弓
曲 目：ベートーヴェン/ヴァイオリン協奏曲
ドビュッシー/小組曲
ラヴェル/ボレロ

©Victor Marin

公演詳細
QRコード

日本フィル・ソニックシティ
「第九」演奏会2025
2025 **12.12** FRI
開場18時 開演19時

指 揮：出口大地
ピアノ：鈴木愛美(第2回浜松国際ピアノコンクール第1位)
ソプラノ：砂田愛梨 メゾソプラノ：山下裕賀
テノール：石井基幾 バリトン：高橋宏典
合 唱：埼玉第九合唱団
曲目：ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第2番
ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱」

©Satoru Masuko ©Yoshinobu Fukaya
©hiro.berg_berlin ©FUKAYAauraY2 ©hiro.photo

公演詳細
QRコード

日本フィルハーモニー交響楽団
第153回さいたま定期演奏会 (バレエ公演)
2026 **1.31** SAT
開場13時20分 開演14時

指 揮：飯森範親 バレエ：牧阿佐美バレエ団
曲 目：★印=バレエ付き
シュトラウスII世/美しく青きドナウ/トリッチ・トラッチ・ポルカ★/ポルカ「元気にやろうぞ」/ポルカ「ハンガリー舞曲」
ハチャトゥリアン/仮面舞踏会〜ワルツ★
チャイコフスキー/白鳥の湖からワルツ/「情景 (第2幕冒頭)」★/くるみ割り人形から「トレバック」★/「花のワルツ」★
ドヴォルジャーク/交響曲第9番「新世界より」

©山岸伸 ©山崎康夫

公演詳細
QRコード

日本フィルハーモニー交響楽団
第154回さいたま定期演奏会
2026 **3.28** SAT
開場13時 開演14時

指 揮：尾高忠明 ピアノ：牛田智大
曲 目：ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」

©Martin Richardson ©Ariga Terasawa

公演詳細
QRコード

会場：ソニックシティ 大ホール

※演者・曲目変更もございます。予めご了承ください。

■チケット価格 (単独券)

S : 6,000円 A : 4,500円 B : 3,500円 Ys : 2,000円 (9.27/11.15/1.31/3.28)

S : 7,000円 A : 5,500円 B : 4,000円 Ys : 2,000円 (12.12)

ホールメンバーズ、チョイス券など、各種割引あり

好評発売中!

ソニックシティオリジナルの新作オペラ「平家物語～平清盛～」
 日本を代表する制作陣・オペラ歌手が大宮に集結！
 琵琶法師役に「八木勇征」を迎えソニックシティの秋を彩る。

オペラ 平家物語 — 平清盛 —

新作委嘱作品

2025年10月4日(土) / 5日(日) 14時開演

STAFF&CAST



脚本
 田淵久美子



作曲
 酒井健治



指揮
 下野竜也



演出
 田尾下哲



平清盛
 池内 晋
 バリトン



平徳子
 川越朱晴
 ソプラノ



平時子
 池田香織
 メソソプラノ



前子
 林 真央
 メソソプラノ



源義経/牛若丸
 村松穂之
 コンターテナー



源義朝
 小堀勇介
 テノール



平重衡
 工藤和真
 テノール



高倉帝
 新堂田暁
 テノール



源頼朝
 高橋宏典
 バリトン



後白河
 木村善明
 バスバリトン



琵琶法師
 八木勇征

管弦楽 読売日本交響楽団 合唱 日本オペラ協会合唱団

演出補: 砂川真緒 美術: 松生菰子 照明: 稲葉直人 衣裳: 騎広真吾
 音響: 山中洋一 殺陣: 滝流一郎 合唱指揮: 富平恭平 矢野雄太
 舞台監督: 山田ゆか

完売御礼!

S席 17,000円 A席 14,000円 B席 10,000円 C席 7,000円 D席 5,000円 Ys席 5,000円

- ・車イス(10席)のご利用についてはソニックシティホールまでお問合せください。
- ・お申込みいただいたチケットの変更およびキャンセルは出来ませんのでご了承ください。
- ・未成年者同伴のご入場はご遠慮いたします。
- ・出演者は変更となることがございますので予めご了承ください。
- ・Ys席は25歳以下の方限定(A席またはB席から選択可)

チケット取り扱い: ソニックシティホールメンパーズ事務局 048-647-7722 (平日9時~17時)

会場 ソニックシティ 大ホール

さいたま市大宮区桜木町1-7-2 (JR大宮駅西口 徒歩3分) <https://www.sonic-city.or.jp/>

主催: (公財)埼玉県産業文化センター 後援: 埼玉県 協賛: (株)しまむら (公社)さいたま観光国際協会 協力: ガーデングループ (株)武蔵野銀行 衣笠協賛: 秋友市 木村和恵(花蔵り人・修仙語り部)

主催：公益財団法人 埼玉県産業文化センター
後援：埼玉県、埼玉県教育委員会、さいたま市、さいたま市教育委員会

立川志らくの
2025年
7月23日(水)
立川志らくの
2025年
7月23日(水)



2025年
全席指定 ¥4,500
(ホールメンバーズ
会員 ¥4,200)

7月23日(水)

開場 18:30
開演 19:00



ソニックシティホールメンバーズ事務局 048-647-7722 (9:00~17:00 土日祝除)

第51回 日本フィル 夏休みコンサート2025

7月26日(土) 13:00&16:30 ソニックシティ
その他サントリーホール、ウェスタ川越等でも開催!



好評発売中!

【料金】全席指定・消費税込

S席 子供3,800円/大人5,800円

A席 子供2,800円/大人4,800円

B席 子供2,000円/大人3,800円

※ 子供 = 4歳~高校生

※ 4歳未満は入場できません。

チケットはお一人一枚ご用意ください。

※ 託児あり(事前申込制、有料)

★演奏時間は休憩を含めて約1時間50分です。

～プログラム～

第1部

エルガー：《威風堂々》第1番

ハチャトゥリアン：《仮面舞踏会》よりワルツ

アンダーソン：ジャズ・レガート

リムスキー=コルサコフ：

《スペイン奇想曲》よりファンダンゴ

第2部

バレエ (7/19~27)

チャイコフスキー：バレエ《白鳥の湖》

(日本フィル夏休みコンサート2025版)

金子三勇士のピアノでみゆじっく (8/1~24)

バルトーク：マイクロコスモスより

オスティナート (第6巻146番)

ベートーヴェン：エリーゼのために

リスト：ラ・カンパネラ

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番より 第1楽章

第3部

だれにだってお誕生日/うみ/勇氣100%

第2部

バレエ

指揮：園田隆一郎/お話をうた：江原陽子

バレエ：スターダンサーズ・バレエ団/バレエ演出・振付：鈴木 稔

7月19日(土) 14:00 相模女子大学グリーンホール

7月20日(日) 14:00 松戸森のホール21

7月21日(月・祝) 14:00 府中の森芸術劇場

7月25日(金) 13:00&16:30 横浜みなとみらいホール

7月26日(土) 13:00&16:30 ソニックシティ (大宮)

7月27日(日) 13:00&16:30 サントリーホール



第2部

ピアノ

指揮：大井剛史/お話をうた：江原陽子/ピアノ：金子三勇士

8月1日(金) 13:00&16:30 サントリーホール

8月2日(土) 13:00&16:30 横浜みなとみらいホール

8月4日(月) 13:00&16:30 東京オペラシティコンサートホール

8月24日(日) 14:00 ウェスタ川越大ホール



【お申し込み】日本フィル・サービスセンター

☎ 03-5378-5911 (平日10時~17時)

e チケット♪ <https://eticket.japanphil.or.jp>



Sonic City Dance シリーズ



社会人のための
ダンスワークショップ
7月3日(木)~

ダンスフリースタイル 2025
8月2日(土)

ソニックダンスステージ 2026
2026年
2月7日(土)



Sonic City x J.A.S.S.

Dance Free Style 2025

2025.8.2(sat)

① 12:00 ~ 14:00
② 17:00 ~ 19:00

ソニックシティホール



Sonic Dance Stage 2026

2026.2.7(sat)

High School × Live Music

